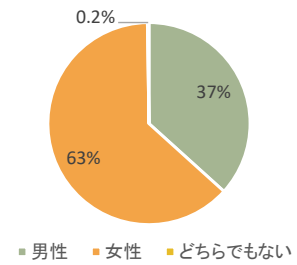


2021年度 キャリアアップに関する意識調査

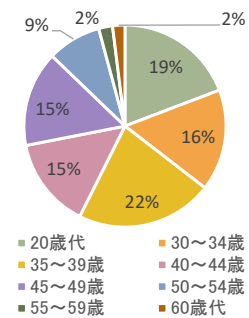
1. 性別

	人数	比率
男性	149	37%
女性	256	63%
どちらでもない	1	0.2%
計	406	100%



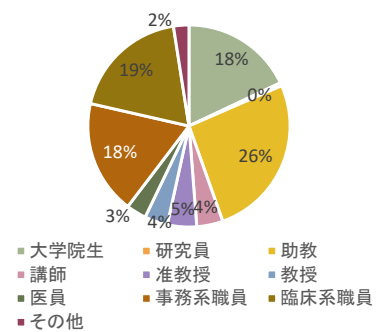
2. 年齢

	人数	比率
20歳代	78	19%
30～34歳	66	16%
35～39歳	89	22%
40～44歳	59	15%
45～49歳	62	15%
50～54歳	35	9%
55～59歳	9	2%
60歳代	8	2%
計	406	100%



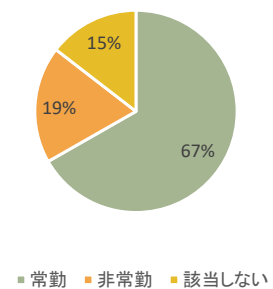
3. 身分(属性)

	人数	比率
大学院生	73	18%
研究員	2	0%
助教	106	26%
講師	17	4%
准教授	19	5%
教授	15	4%
医員	13	3%
事務系職員	74	18%
臨床系職員	77	19%
その他	10	2%
計	406	100%



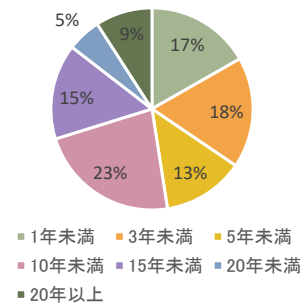
4. 勤務形態

	人数	比率
常勤	271	67%
非常勤	76	19%
該当しない	59	15%
計	406	100%



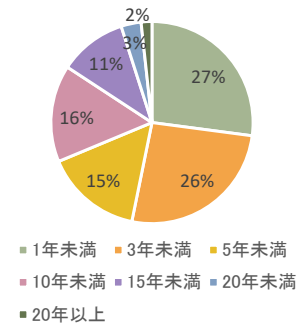
5. 勤務(在学)歴

	人数	比率
1年未満	68	17%
3年未満	72	18%
5年未満	53	13%
10年未満	92	23%
15年未満	62	15%
20年未満	22	5%
20年以上	37	9%
計	406	100%



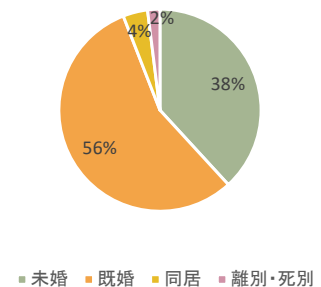
6. 現在の職位(学年)となつて何年目か

	人数	比率
1年未満	110	27%
3年未満	106	26%
5年未満	63	16%
10年未満	63	16%
15年未満	44	11%
20年未満	13	3%
20年以上	7	2%
計	406	100%



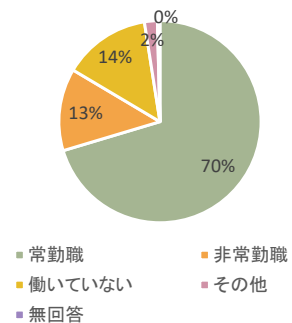
7. 婚姻状況

	人数	比率
未婚	155	38%
既婚	227	56%
同居	16	4%
離別・死別	8	2%
計	406	100%



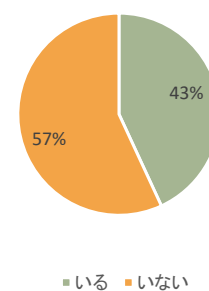
8. 配偶者(パートナー)の労働状況

	人数	比率
常勤職	171	70%
非常勤職	32	13%
働いていない	34	14%
その他	5	2%
無回答	1	0%
計	243	100%



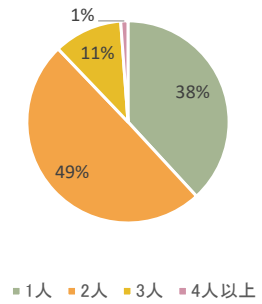
9. 子どもの有無

	人数	比率
いる	175	43%
いない	231	57%
計	406	100%



10. 子どもの数

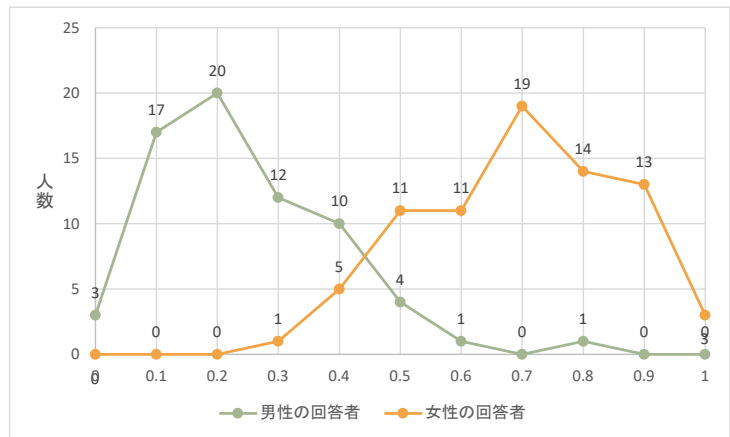
	人数	比率
1人	66	38%
2人	86	49%
3人	19	11%
4人以上	2	1%
無回答	2	1%
計	175	100%



11. 育児の割合

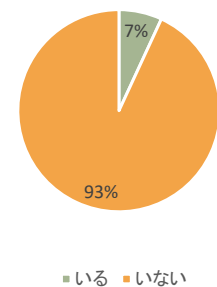
	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	無回答	計
自分自身	3	17	20	13	15	15	12	19	15	13	3	30	175
配偶者	6	16	19	19	13	12	12	12	18	16	2	30	175

割合	男性	女性
0% …育児をしていない	3	0
10%	17	0
20%	20	0
30%	12	1
40%	10	5
50%	4	11
60%	1	11
70%	0	19
80%	1	14
90%	0	13
100% …自分だけで育児をしている	0	3
無回答	16	14
計	84	91
自身と配偶者だけで育児をしている	58	61



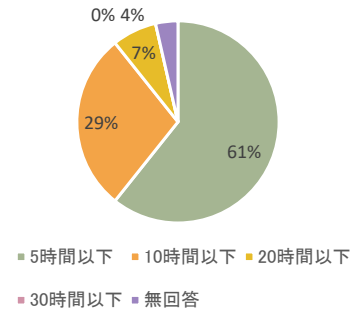
12. 介護者の有無

	人数	比率
いる	28	7%
いない	378	93%
計	406	100%



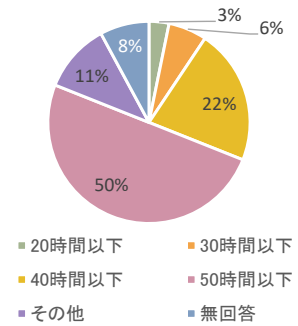
13. 介護に費やす時間(時間/週)

	人数	比率
5時間以下	17	61%
10時間以下	8	29%
20時間以下	2	7%
30時間以下	0	0%
無回答	1	4%
計	28	100%



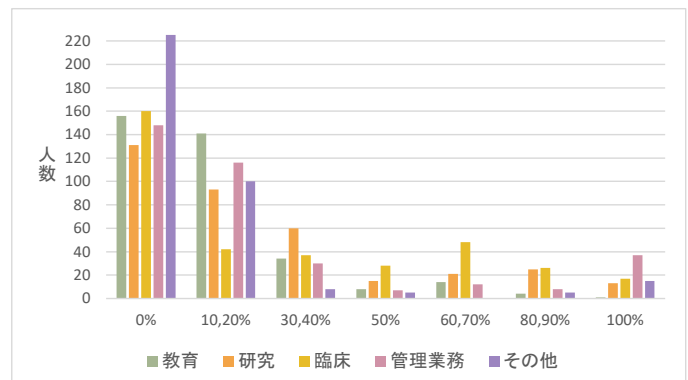
14. 平均実働時間(時間/週)

	人数	比率
20時間以下	13	3%
30時間以下	25	6%
40時間以下	88	22%
50時間以下	203	50%
その他	45	11%
無回答	32	8%
計	406	100%



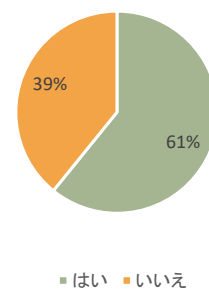
15. 業務の割合

割合	教育	研究	臨床	管理業務	その他
0% …携わっていない	156	131	160	148	225
10.20%	141	93	42	116	100
30.40%	34	60	37	30	8
50%	8	15	28	7	5
60.70%	14	21	48	12	0
80.90%	4	25	26	8	5
100% …その業務がメイン	1	13	17	37	15
無回答	48				
計	406				



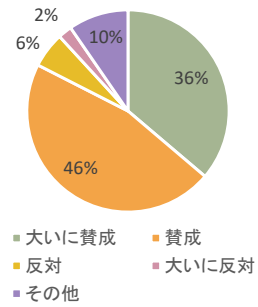
16. 本学に創設された女性上位職登用制度を知っていたか

	人数	比率
はい	247	61%
いいえ	159	39%
計	406	100%



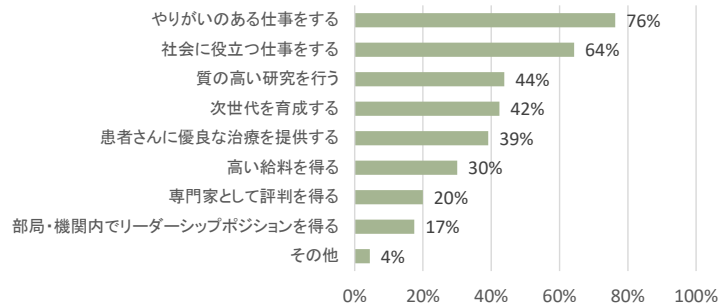
17. 本学の女性上位職比率を25%以上とする目標の達成に向けた女性支援について

	人数	比率
大いに賛成	147	36%
賛成	188	46%
反対	23	6%
大いに反対	9	2%
その他	39	10%
計	406	100%



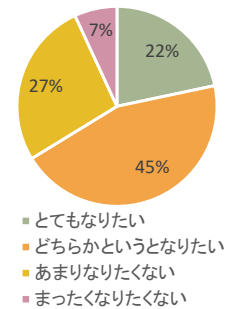
18. キャリアの目標(複数回答)

	回答数	比率
質の高い研究を行う	178	44%
やりがいのある仕事をする	310	76%
社会に役立つ仕事をする	261	64%
患者さんに優良な治療を提供する	159	39%
次世代を育成する	172	42%
専門家として評判を得る	81	20%
部局・機関内でリーダーシップポジションを得る	71	17%
高い給料を得る	122	30%
その他	18	4%



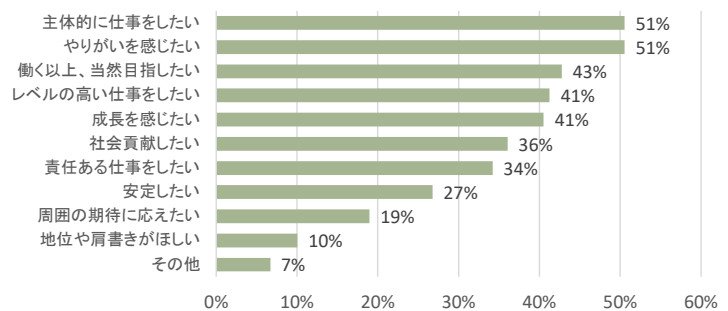
19. 将来、リーダーや上位職になりたいか

	人数	比率
とてもなりたい	88	22%
どちらかというになりたい	181	45%
あまりなりたくない	109	27%
まったくなりたくない	28	7%
計	406	100%



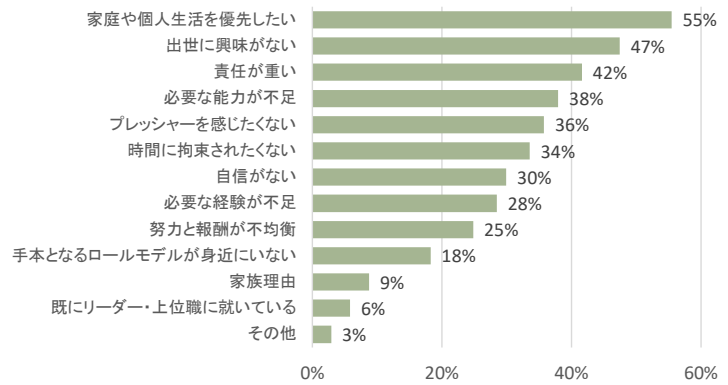
20. リーダーや上位職になりたい理由(複数回答)

	回答数	比率
働く以上、当然目指したい	115	43%
やりがいを感じたい	136	51%
レベルの高い仕事をしたい	111	41%
成長を感じたい	109	41%
責任ある仕事をしたい	92	34%
主体的に仕事をしたい	136	51%
地位や肩書きがほしい	27	10%
周囲の期待に応えたい	51	19%
安定したい	72	27%
社会貢献したい	97	36%
その他	18	7%



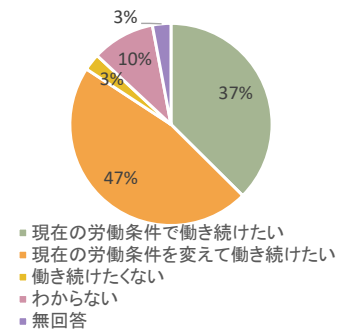
21. リーダーや上位職になりたくない理由(複数回答)

	回答数	比率
家庭や個人生活を優先したい	76	55%
出世に興味がない	65	47%
責任が重い	57	42%
プレッシャーを感じたくない	49	36%
時間に拘束されたくない	46	34%
自信がない	41	30%
必要な能力が不足	52	38%
必要な経験が不足	39	28%
努力と報酬が不均衡	34	25%
手本となるロールモデルが身近にいない	25	18%
家族理由	12	9%
既にリーダー・上位職に就いている	8	6%
その他	4	3%



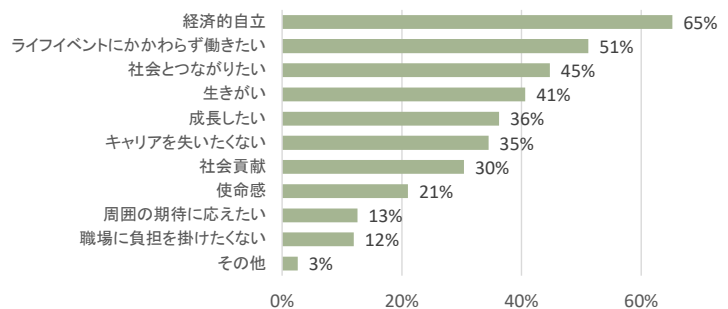
22. 働き続けたいか？

	人数	比率
現在の労働条件で働き続けたい	152	37%
現在の労働条件を変えて働き続けたい	190	47%
働き続けたくない	11	3%
わからない	41	10%
無回答	12	3%
計	406	100%



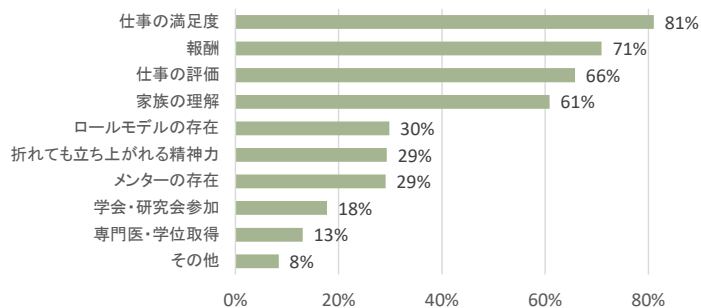
23. 働き続けたい理由(複数回答)

	回答数	比率
ライフイベントにかかわらず働きたい	175	51%
成長したい	124	36%
使命感	72	21%
生きがい	139	41%
経済的自立	223	65%
社会とつながりたい	153	45%
キャリアを失いたくない	118	35%
職場に負担を掛けたくない	41	12%
周囲の期待に応えたい	43	13%
社会貢献	104	30%
その他	9	3%



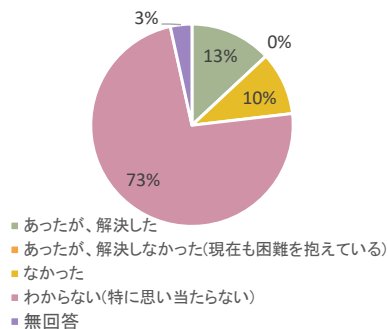
24. モチベーションを維持・向上するために必要なもの(複数回答)

	回答数	比率
仕事の満足度	329	81%
仕事の評価	267	66%
専門医・学位取得	53	13%
学会・研究会参加	72	18%
報酬	288	71%
折れても立ち上がれる精神力	119	29%
メンターの存在	118	29%
ロールモデルの存在	121	30%
家族の理解	247	61%
その他	34	8%



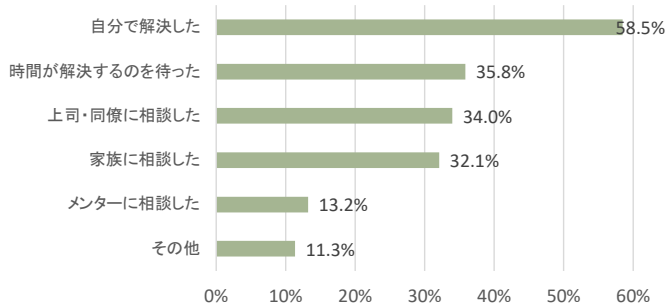
25. キャリア形成に関する困難はあったか？女性の方は、“ガラスの天井”の経験も含む

	人数	比率
あったが、解決した	53	13%
あったが、解決しなかった(現在も困難を抱えている)	0	0%
なかった	41	10%
わからない(特に思い当たらない)	298	73%
無回答	14	3%
計	406	100%



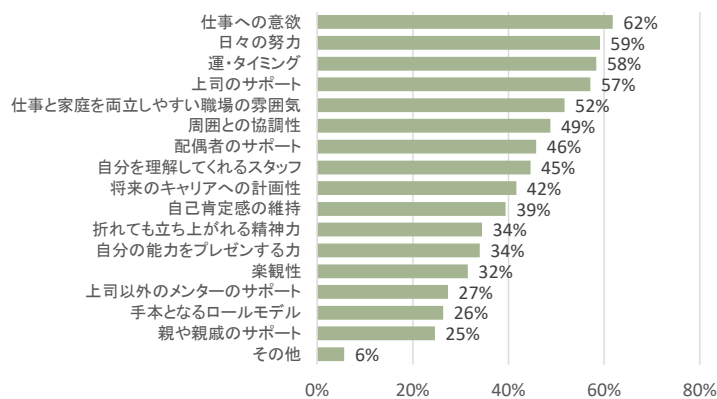
26. 困難への対処方法(複数回答)

	回答数	比率
自分で解決した	31	58%
上司・同僚に相談した	18	34%
メンターに相談した	7	13%
家族に相談した	17	32%
時間が解決するのを待った	19	36%
その他	6	11%
計	98	126%



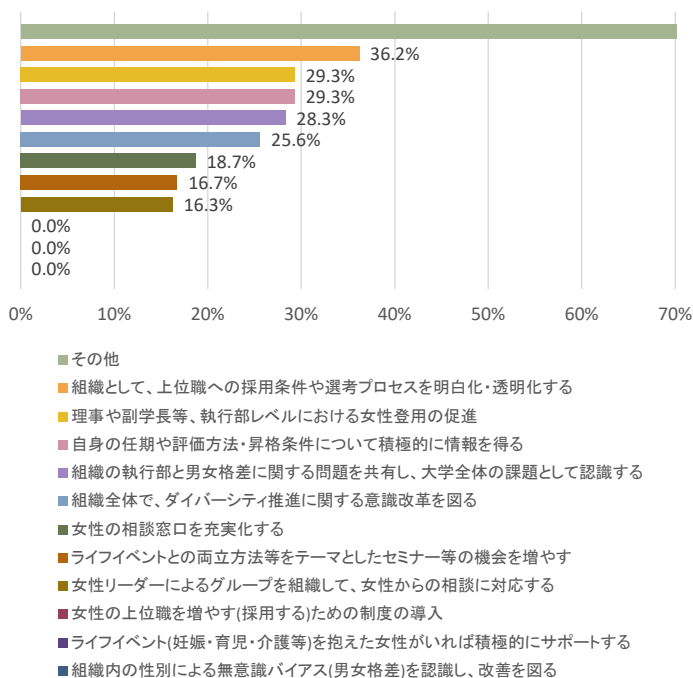
27. 何がキャリアアップに有効か？(複数回答)

	回答数	比率
仕事への意欲	251	62%
日々の努力	240	59%
自分の能力をプレゼンする力	138	34%
将来のキャリアへの計画性	169	42%
自己肯定感の維持	160	39%
折れても立ち上がれる精神力	140	34%
楽観性	128	32%
周囲との協調性	198	49%
上司のサポート	232	57%
上司以外のメンターのサポート	111	27%
自分を理解してくれるスタッフ	181	45%
仕事と家庭を両立しやすい職場の雰囲気	210	52%
手本となるロールモデル	107	26%
配偶者のサポート	186	46%
親や親戚のサポート	100	25%
運・タイミング	237	58%
その他	23	6%



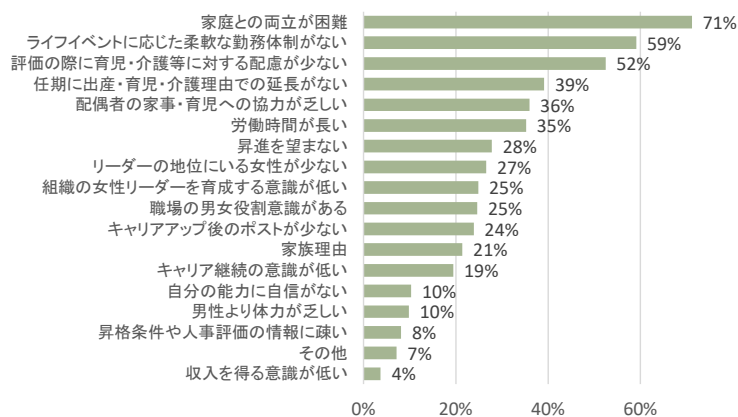
28. 女性のキャリアアップ促進のための有効策(複数回答)

	回答数	比率
自身の任期や評価方法・昇格条件について積極的に情報を得る	119	29%
組織内の性別による無意識バイアス(男女格差)を認識し、改善を図る	0	0%
女性の相談窓口を充実化する	76	19%
ライフイベント(妊娠・育児・介護等)を抱えた女性がいれば積極的にサポートする	0	0%
女性の上位職を増やす(採用する)ための制度の導入	0	0%
理事や副学長等、執行部レベルにおける女性登用の促進	119	29%
柔軟な働き方や、家庭と仕事を両立しやすい勤務体制の導入	284	70%
女性リーダーによるグループを組織して、女性からの相談に対応する	66	16%
組織として、上位職への採用条件や選考プロセスを明白化・透明化する	147	36%
ライフイベントとの両立方法等をテーマとしたセミナー等の機会を増やす	68	17%
組織の執行部と男女格差に関する問題を共有し、大学全体の課題として認識する	115	28%
組織全体で、ダイバーシティ推進に関する意識改革を図る	104	26%
その他	343	84%



29. 女性がキャリアアップしにくい要因(複数回答)

	回答数	比率
昇進を望まない	113	28%
自分の能力に自信がない	42	10%
キャリア継続の意識が低い	79	19%
収入を得る意識が低い	15	4%
評価の際に育児・介護等に対する配慮が少ない	213	52%
任期に出産・育児・介護理由での延長がない	159	39%
家庭との両立が困難	289	71%
労働時間が長い	143	35%
ライフイベントに応じた柔軟な勤務体制がない	240	59%
職場の男女役割意識がある	100	25%
キャリアアップ後のポストが少ない	97	24%
組織の女性リーダーを育成する意識が低い	101	25%
昇格条件や人事評価の情報に疎い	33	8%
リーダーの地位にいる女性が少ない	108	27%
配偶者の家事・育児への協力が乏しい	146	36%
家族理由	87	21%
男性より体力が乏しい	40	10%
その他	29	7%

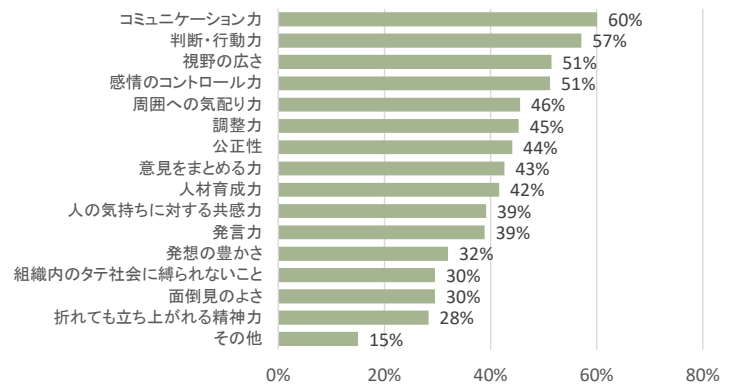


30. 職場にどのような男女役割意識があるか?(自由回答)

●集計中

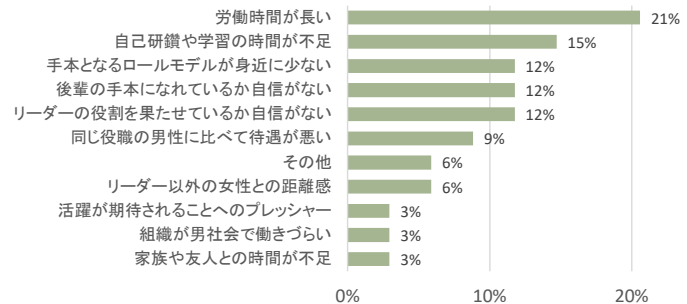
31. 女性リーダーに必要なスキル(複数回答)

	回答数	%
コミュニケーション力	244	60%
周囲への気配り力	185	46%
人の気持ちに対する共感力	159	39%
折れても立ち上がれる精神力	115	28%
公正性	179	44%
調整力	184	45%
判断・行動力	232	57%
発言力	158	39%
発想の豊かさ	130	32%
感情のコントロール力	208	51%
面倒見のよさ	120	30%
人材育成力	169	42%
視野の広さ	209	51%
意見をまとめる力	173	43%
組織内のタテ社会に縛られないこと	120	30%
その他	61	15%



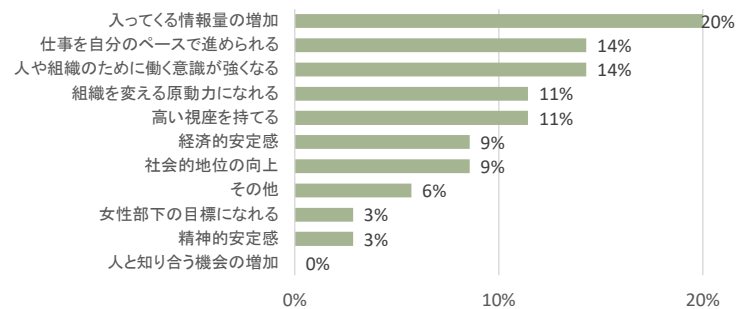
32. リーダーであることの悩み

	人数	比率
リーダーの役割を果たしているか自信がない	4	12%
後輩の手本になれているか自信がない	4	12%
手本となるロールモデルが身近に少ない	4	12%
労働時間が長い	7	21%
家族や友人との時間が不足	1	3%
自己研鑽や学習の時間が不足	5	15%
組織が男社会で働きづらい	1	3%
同じ役職の男性に比べて待遇が悪い	3	9%
活躍が期待されることへのプレッシャー	1	3%
リーダー以外の女性との距離感	2	6%
その他	2	6%
計	34	100%



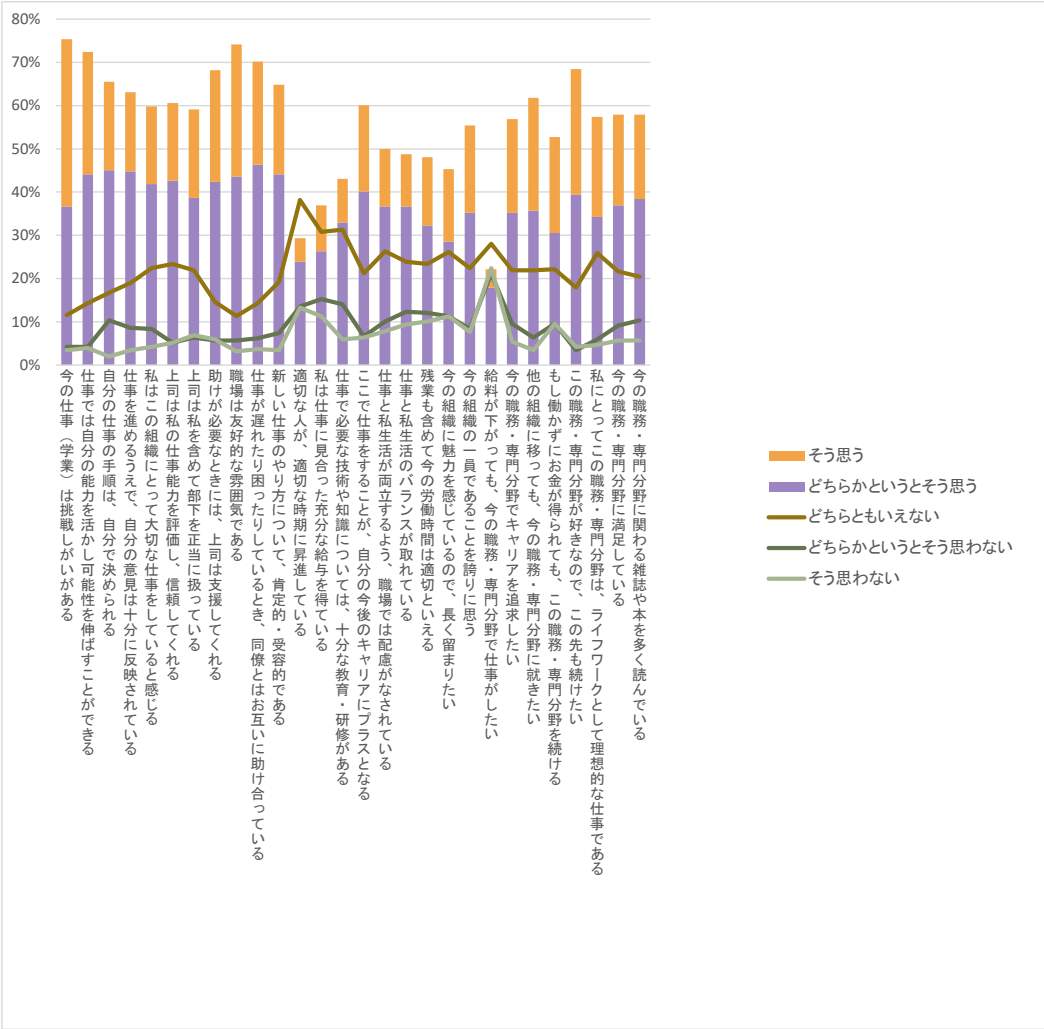
33. リーダーになって良かったこと

	人数	%
精神的安定感	1	3%
社会的地位の向上	3	9%
高い視座を持てる	4	11%
組織を変える原動力になれる	4	11%
女性部下の目標になれる	1	3%
経済的安定感	3	9%
入ってくる情報量の増加	7	20%
人と知り合う機会の増加	0	0%
人や組織のために働く意識が強くなる	5	14%
仕事を自分のペースで進められる	5	14%
その他	2	6%
計	35	100%



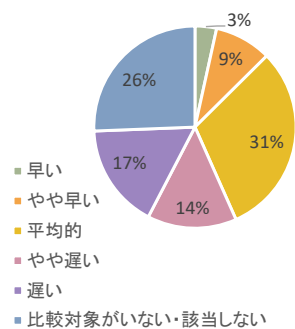
34. 仕事(学業)のことについて

	そう思う	比率	どちらか というそ う思う	比率	どちらとも いえない	比率	どちらか というそ う思わな い	比率	そう思わ ない	比率	無回答	比率
今の仕事(学業)は挑戦しがいがある	157	39%	14	3%	149	37%	17	4%	47	12%	22	5%
仕事では自分の能力を活かし、可能性を伸ばすことができる	115	28%	16	4%	179	44%	17	4%	58	14%	21	5%
自分の仕事の手順は自分で決められる	83	20%	8	2%	183	45%	42	10%	68	17%	22	5%
仕事を進めるうえで、自分の意見は十分に反映されている	74	18%	14	3%	182	45%	35	9%	77	19%	24	6%
私はこの組織にとって大切な仕事をしていると感じる	73	18%	17	4%	170	42%	34	8%	91	22%	21	5%
上司は私の仕事能力を評価し、信頼してくれる	73	18%	21	5%	173	43%	21	5%	95	23%	23	6%
上司は私を含めて部下を正當に扱っている	83	20%	28	7%	157	39%	26	6%	89	22%	23	6%
助けが必要なときには、上司は支援してくれる	105	26%	24	6%	172	42%	23	6%	59	15%	23	6%
職場は友好的な雰囲気である	124	31%	13	3%	177	44%	23	6%	46	11%	23	6%
仕事が遅れたり困ったりしているとき、同僚とはお互いに助け合っている	97	24%	15	4%	188	46%	25	6%	58	14%	23	6%
新しい仕事のやり方について、肯定的・受容的である	84	21%	14	3%	179	44%	30	7%	78	19%	21	5%
適切な人が、適切な時期に昇進している	22	5%	54	13%	97	24%	55	14%	155	38%	23	6%
私は仕事に見合った十分な給与を得ている	43	11%	46	11%	107	26%	62	15%	125	31%	23	6%
仕事に必要な技術や知識については、十分な教育・研修がある	41	10%	24	6%	134	33%	57	14%	127	31%	23	6%
ここで仕事をすることが、自分の今後のキャリアにプラスとなる	81	20%	26	6%	163	40%	27	7%	86	21%	23	6%
仕事と私生活が両立するよう、職場では配慮がなされている	54	13%	32	8%	149	37%	41	10%	107	26%	23	6%
仕事と私生活のバランスが取れている	49	12%	38	9%	149	37%	50	12%	97	24%	23	6%
残業も含めて今の労働時間は適切といえる	64	16%	41	10%	131	32%	49	12%	95	23%	26	6%
今の組織に魅力を感じているので、長く留まりたい	68	17%	46	11%	116	29%	46	11%	106	26%	24	6%
今の組織の一員であることを誇りに思う	82	20%	31	8%	143	35%	34	8%	91	22%	25	6%
給料が下がっても、今の職務・専門分野で仕事がしたい	17	4%	91	22%	73	18%	86	21%	114	28%	25	6%
今の職務・専門分野でキャリアを追求したい	88	22%	22	5%	143	35%	39	10%	89	22%	25	6%
他の組織に移っても、今の職務・専門分野に就きたい	106	26%	14	3%	145	36%	26	6%	89	22%	26	6%
もし、働かずにお金が得られても、この職務・専門分野を続ける	90	22%	39	10%	124	31%	39	10%	90	22%	24	6%
この職務・専門分野が好きなので、この先も続けたい	118	29%	17	4%	160	39%	14	3%	73	18%	24	6%
私にとってこの職務・専門分野は、ライフワークとして理想的な仕事である	94	23%	19	5%	139	34%	24	6%	105	26%	25	6%
今の職務・専門分野に満足している	85	21%	23	6%	150	37%	37	9%	88	22%	23	6%
今の職務・専門分野に関わる雑誌や本を多く読んでいる	79	19%	23	6%	156	38%	42	10%	83	20%	23	6%



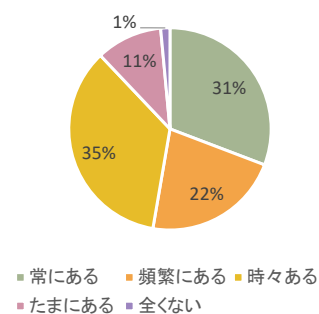
35. 昇格・昇進状況

	人数	比率
早い	14	3%
やや早い	37	9%
平均的	125	31%
やや遅い	58	14%
遅い	68	17%
比較対象がない・該当しない	104	26%
計	406	100%



36. ストレスを感じること

	人数	比率
常にある	125	31%
頻繁にある	89	22%
時々ある	143	35%
たまにある	43	11%
全くない	6	1%
計	406	100%



37. コロナ禍における今後のキャリア形成の考え方や働き方への影響(自由回答)

●集計中

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。集計には、教学IRチーム作成の集計ツールを利用させていただきました。